

# カワウ生息調査

山辺沢沼  
カッタイ池

下北野鳥の会 阿 部 誠 一

# カワウ生息調査

## ～山辺沢沼・カッタイ池～

下北野鳥の会 阿部 誠 一

はじめに

カワウ (*Phalacrocorax carbo hanedae*) は、ペリカン目ウ科ウ属に属し、ヨーロッパ、アジア、オセアニア、アフリカの各地と北アメリカ北東部に分布していて、海岸部から内陸の河川・湖沼など水辺に生息している。全長は約82cmで、体は黒くて光沢があり、背中が褐色味を帯びる。嘴の根元から目の周囲にかけて黄色い皮膚が露出し、その回りは白い。おもに、河川・湖沼や内湾などに生息し、巧みに潜水して主食の魚を捕える。樹上に枯れ枝などで巣を作り、集団で繁殖する。

かつてカワウは、日本各地で繁殖していたと考えられている。ところが、乱獲や大規模な開発等による生息環境の悪化が原因と思われるが、1970年（昭和45年）ごろには、全国で約3,000羽に激減してしまい、繁殖地も数箇所だけとなり、日本産としての絶滅の危機を迎えたことがあった。ところが、その後徐々に回復をはじめ現在ではほぼ全国に生息している。これにともない、繁殖地も増加し、海岸部から内陸部への進出が見られるようになった。

青森県でのカワウは、南津軽郡の猿賀神社の繁殖コロニーが古くから知られており、1935年（昭和10年）には国の天然記念物に指定されていた。下北半島では、古くは恐山菩提寺にまつわる伝説に現れ、また、宇曾利山湖には相当古くから生息していたといわれている。下北半島で初めて繁殖コロニーが確認されたのは、1977年（昭和52年）むつ市大畑（旧：大畑町）の津軽海峡に面した通称「赤岩」である。しかし、1979年（昭和54年）を最後にコロニーは消滅した。この年、上北郡六ヶ所村の市柳沼で約30巣が確認された。その後、1983年頃にはコロニーが消滅した。1980年（昭和55年）には、むつ市の郊外にある山辺沢沼で、さらに、1993年（平成5年）にはカッタイ池でコロニーが確認された。

今回、平成19年において、むつ市山辺沢沼とカッタイ池に生息するカワウの状況を調査することができたので次のとおり報告する。

### 調査方法

繁殖状況および生息数の調査は、月に一度、それぞれのコロニーにて観察する。

- 1) 繁殖については、3月から8月までの期間に営巣数とヒナの状態などを観察する。
- 2) 生息数については、繁殖期は親鳥がコロニーからの出入りが多く、その数は把握し難いため、ヒナの巣立ちがほとんど終わる7月から観察を行い、次の繁殖が始まる翌年の2月までの期間とする。（但し、報告は12月まで）その数については、午後の観察開始時にねぐら（コロニー）内にいた数と、その後のねぐらへ戻って来た数とを合わせたものとする。
- 3) カワウは、繁殖期・非繁殖期とも、山辺沢沼とカッタイ池では同じ場所を使用しているが、報告では、繁殖期は「コロニー」とし、非繁殖期は「ねぐら」とする。

調査結果

山 辺 沢 沼	カ ッ タ イ 池
<p>H19/1/3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数53羽。</li> <li>・沼は全面結氷。</li> <li>・16:00までに3羽飛来した。その後16:45まで50羽がねぐら入りした。</li> </ul>	<p>H19/1/13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数0羽。</li> <li>・池は全面結氷。</li> <li>・16:00ねぐら内は0羽。その後17:00まで飛来無し。</li> </ul>
<p>H19/2/4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数21羽。</li> <li>・沼は全面結氷。</li> <li>・17:14に2羽が、その後17:20ごろに19羽がねぐら入りした。</li> </ul>	<p>H19/2/10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数0羽。</li> <li>・池はほとんど結氷。</li> <li>・16:00ねぐら内は0羽。その後17:00まで飛来無し。</li> </ul>
<p>H19/3/24</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼のコロニーでは巣作りが行われ繁殖が始まっていた。</li> <li>・巣材の小枝をくわえてさかんに飛び回っていた。</li> <li>・巣や枝の上で翼をバタバタさせてさかんに求愛行動をしていた。</li> </ul>	<p>H19/3/24</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・池のコロニーでは巣作りが行われ繁殖が始まっていた。</li> <li>・巣材をくわえてさかんに飛び回っていた。</li> <li>・巣や枝の上でさかんに求愛行動をしていた。</li> </ul>
<p>H19/4/21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営巣数:326巣。</li> <li>・ほとんどが巣に入って抱卵姿勢をしていた。時々足元を気にするようにして卵を抱き直すような行動をした。</li> <li>・ヒナの声は聞こえなかった。</li> <li>・巣材をくわえて飛び回ったり、巣作りを始めたばかりのつがいがあった。また、巣や枝の上で求愛行動をするつがいもあった。</li> </ul>	<p>H19/4/21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営巣数:205巣。</li> <li>・巣作り中もあったが、ほとんどは巣に入って抱卵姿勢をしていた。</li> <li>・巣のそばにいた親鳥が、巣にいた相手と交代した後、足元を気遣いながら巣に入った。</li> <li>・ヒナの声は聞こえなかった。</li> <li>・枝に止まって求愛行動をしていたつがいがあった。</li> </ul>
<p>H19/5/12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの巣に入っていて抱卵姿勢をしていた。</li> <li>・一部からヒナの声がした。1巣で小さいヒナを確認した。</li> <li>・枝の上で求愛行動をするつがいがあった。</li> </ul>	<p>H19/5/12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの巣に入っていて抱卵姿勢をしていた。</li> <li>・一部からヒナの声が聞こえたが、確認できなかった。</li> <li>・巣や枝の上で求愛行動をするつがいがあった。</li> </ul>
<p>H19/6/9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼のコロニー全体にヒナの声がよく響いていた。ほとんどの巣にヒナが見られた。</li> <li>・孵化後間もない小さいヒナから親と同じ大きさのものまであり、ヒナの大きさには差があった。</li> <li>・巣立ち幼鳥8羽確認した。</li> </ul>	<p>H19/6/9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・池のコロニー全体にヒナの声がよく響いていた。</li> <li>・親と同じ大きさのヒナがいたのは3巣で、他は親の半分以下の小さいヒナであった。抱卵姿勢の巣も多くあったが、小さいヒナの可能性があった。</li> <li>・巣立ち幼鳥4羽確認した。</li> </ul>
<p>H19/7/21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数:1107羽。</li> <li>・7巣にヒナがいた。親の半分位から同大まであり。</li> </ul>	<p>H19/7/16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息数:183羽。</li> <li>・9巣にヒナがいた。親の半分位から同大まであり。他に抱卵姿勢が2巣あったが卵かヒナかは不明。</li> </ul>



## ま と め

平成19年は、山辺沢沼・カッタイ池の両コロニーとも、3月には巣材の小枝を運んでさかんに巣作りをしていて繁殖が始まっていた。4月はほとんどの巣が抱卵の姿勢。5月になるとヒナが現れ、7月にはほとんどが巣立ちをしていた。今回も、例年どおりの繁殖状況であった。

営巣数は、山辺沢沼では326巣、カッタイ池は205巣であった。合計は531巣で、前年とほぼ同じであったが、両コロニーの数が逆になる結果となった。カッタイ池では、平成17年から減少していて、過去7年間では最少となった。営巣木が枯れて利用できる木が少なくなったことが要因の一つと考えられるが、詳しくは不明である。山辺沢沼は、かつての約3倍までに増加した。沼の南側に面したのコロニーの一部が、前年から西側へ拡大して、今年は約100巣が

作られたためである。  
生息数（7月）は、前年よりやや減少したが合計で1,290羽であった。山辺沢沼は営巣数が増加したことにもない生息数も1,000羽を超えた。これまで、500羽以下であったことから、2倍以上

になったことになる。一方、カッタイ池は、200巣を越えていたが183羽という結果となった。7月の観察では、すでにほとんど巣立ちを終えていたことから、巣立ち後間もなくして池を畔に使用していないことになる。例年は、10月から使用しなくなり0羽となるが、今年は9月からであり、さらには8月で46羽に減少している。平成15年までは、1,000羽以上であったが、平成16年から減少して半分以下となっている。営巣数の減少が大きな要因であるかもしれないが、詳しくは不明である。

以上、平成19年は繁殖・生息ともに内容的には例年通りの結果であったが、両コロニーの営巣数と生息数に大きな変化が見られた。これまで両コロニーとも、営巣数は平成16年まで、生息数は平成15年まで、ともに安定した状態にあった。それが、平成17年から、

山辺沢沼は増加、カッタイ池は減少という結果になった。営巣木の減少や生息環境の変化などが考えられるが、現在のところは不明である。今後、調査を継続してその手掛かりを探してゆきたい。

図1 営巣数

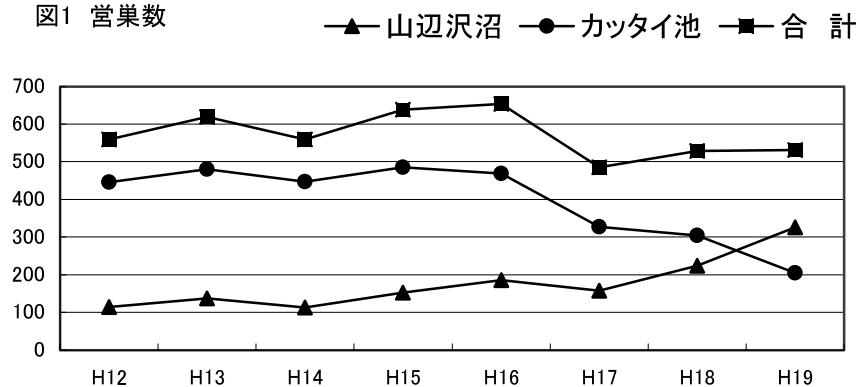
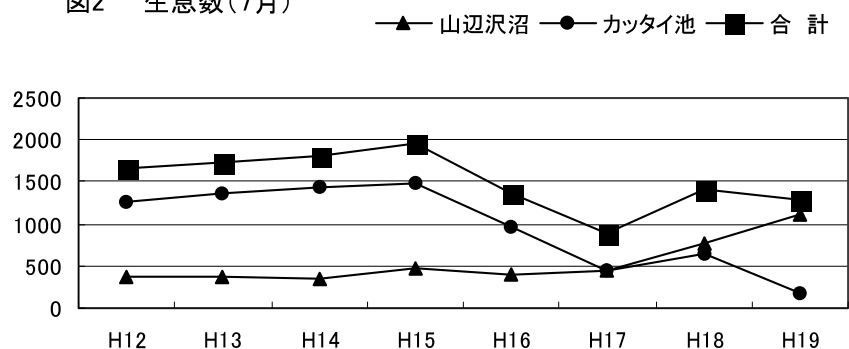


図2 生息数(7月)



# むつ市文化財一覧表

## ■国指定文化財

### 重要文化財

種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者	指定年月日
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	むつ市田名部町4番8号	常念寺	大正4.3.26

### 重要無形民俗文化財

種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者	指定年月日
	下北の能舞		東通村、むつ市、横浜町	むつ市能舞保存会	平成元.3.20

## ■県指定文化財

### 県重宝（有形文化財）

種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者	指定年月日
彫刻	如来立像（円空作）	1 軀	むつ市大湊上町13番6号	常楽寺	昭和39.6.30
工芸品	剣 銘以外濱紗織紀正賀謹鍛造	1 口	むつ市大湊新町20番15号	個人蔵	昭和44.12.15
工芸品	日本刀 銘吉治郎紀正賀鑄外濱紗織作之	1 口	むつ市大湊新町20番15号	個人蔵	昭和44.12.15
建造物	旧海軍大湊要港部水源地堰堤	1 基	むつ市宇田町368番地	むつ市	平成5.4.16
考古資料	二枚橋遺跡出土品（一括）	602点	むつ市大畑町中島108-5	むつ市	平成14.4.17

### 民俗文化財

種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者	指定年月日
有形	銀鬘斗包印籠刻蝦夷腰刀拵	1 点	むつ市大湊新町20番15号	個人蔵	昭和56.6.23
有形	アイヌの腰刀	1 口	むつ市大湊新町20番15号	個人蔵	昭和36.1.14
無形	田名部の山車行事		むつ市横迎町 小川町 柳町 本町・田名部町 新町	むつ市横迎町 小川町 柳町 蝦子山管理委員会 熊野神社	平成11.1.22
無形	川内の山車行事		むつ市川内町	上町（共心会） 中浦町（有終会） 新町（新盛会） 浜町（共正会） 仲崎町（壮和会） 谷地町（谷地町町内会）	平成11.1.22
無形	大畑の山車行事		むつ市大畑町	大畑町八幡宮例祭山車行事保存会	平成12.8.30
無形	脇野沢の山車行事		むつ市脇野沢	蛭子山町印 船山町印 脇野沢八幡宮	平成12.4.19

### 県記念物

種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者	指定年月日
天然記念物	大湊湾の白鳥		むつ市	むつ市教育委員会	昭和35.6.24

## ■市指定文化財

### 有形文化財

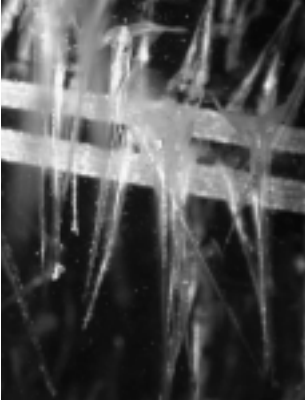
種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者	指定年月日
歴史資料	山本家文書	8 冊	むつ市小川町2丁目1番6号	個人蔵	昭和47.2.16
工芸品	海祥山慈眼寺 喚鐘	1 口	むつ市田名部町4番8号	常念寺	昭和47.2.16
建造物	鈴木誠作記念館（旧大湊ホテル）	1 棟	むつ市中央2丁目13番地	大湊興業株式会社	平成9.10.1
建造物	むつ市文化財収蔵庫（旧海軍石造宿舎「金剛寮」）	1 棟	むつ市桜木町5番64号	むつ市	平成9.10.1
絵画	屋島壇浦合戦図屏風	2 雙	むつ市田名部町4番8号	常念寺	昭和47.2.16
絵画	川内風景図屏風土岐蓑虫（蓑虫山人筆）	6 曲1 双	むつ市川内町川内90番地	宗教学法人泉龍寺	平成2.3.20
考古資料	円筒上層B式土器	1 個	むつ市桜木町5番64号	むつ市教育委員会	昭和47.2.16
考古資料	円筒下層C式土器	2 個	むつ市桜木町5番64号	むつ市教育委員会	昭和47.2.16
考古資料	女館貝塚石器	32個	むつ市桜木町5番64号	むつ市教育委員会	昭和47.2.16
考古資料	弥生式土器 壺	1 個	むつ市大曲3丁目7番2号	個人蔵	昭和55.2.20
歴史資料	和鏡（梅花双雀鏡）	1 面	むつ市大曲1丁目3番63号	個人蔵	昭和59.7.1
歴史資料	和鏡（菊枝散雙鳥鏡）	2 面	むつ市大字田名部字最花	最花町内会	昭和59.7.1
歴史資料	俳諧額	1 面	むつ市川内町川内324番地	宗教学法人川内八幡宮	平成2.3.20
歴史資料	青面金剛五輪塔	1 基	むつ市川内町川内324番地	宗教学法人川内八幡宮	平成2.3.20
歴史資料	吞香稲荷神社奉納物 俳諧額	2 面	むつ市旭町275番	吞香稲荷神社	平成20.1.9
その他	香灯峯見送り幕「紅毛唐人憩図」	1 枚	むつ市新町15番3号	熊野神社	昭和61.11.1

### 民俗文化財

種別	名称	員数	所在地	所有者・管理	指定年月日
有形	田名部海辺三十三番順禮礼所標示版	1 枚	むつ市新町4番11号	円通寺	昭和47.2.16
有形	田名部海辺三十三番順禮礼所 （三十一番観世音菩薩）	1 軀	むつ市大字関根字 北関根11番地	個人蔵	昭和47.2.16
有形	兵主神社奉納物 絵馬	16枚	むつ市大湊上町21番34号	兵主神社	昭和47.2.16
有形	生活用具	32点	むつ市桜木町5番64号	むつ市教育委員会	昭和47.2.16
有形	海祥山慈眼寺 棟札	1 枚	むつ市田名部町4番8号	常念寺	昭和47.2.16
有形	宿野部水車小屋	1 基	むつ市川内町宿野部上野平192番地	宿野部地区部落会長	平成4.2.26
有形	木造和漁船	1 隻	むつ市脇野沢九艘泊476番地	むつ市	平成9.11.19
有形	近川稲荷神社金刀比羅神社奉納物 絵馬	17点	むつ市大湊浜町1番1号	近川稲荷神社 金刀比羅神社	平成17.3.15
無形	栗山太神楽		むつ市栗山町	栗山太神楽保存会	平成14.1.11
無形	奥内歌舞伎		むつ市大字奥内	奥内歌舞伎保存会	平成15.1.16

### 記念物

種別	名称	員数	所在地	所有者・管理者	指定年月日
史跡	一里塚	1 基	むつ市大字田名部字赤川	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社	平成14.1.11
天然記念物	銀杏木の大きいチョウ	1 本	むつ市川内町銀杏平54番地	銀杏木部落会	平成2.3.20



(表紙写真の説明)

芦崎で初採取の貝（ウキビシガイ科 ウキズノガイ）

殻長 30mm、翼足が二枚ありそれを動かして浮遊している。

### むつ市文化財調査報告第36集

発行／平成20年3月31日

編集／むつ市教育委員会

発行所／むつ市教育委員会

〒035-8686青森県むつ市金谷一丁目1番1号

☎(0175)22-1111

印刷所／協同印刷工業株式会社